

# メディアワールド

研究主題

情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成

横浜市立小学校

情報・視聴覚 研究主任様

横浜市小学校教育研究会

情報・視聴覚教育研究部会員様

定期総会

新年度役員選出  
研究計画  
予算案 等

講演会

「タブレット活用と  
21世紀型コミュニケーション力の育成」  
放送大学 教授 中川一史

部会オリエンテーション

各部会研究テーマ  
役割分担

平成27年度 4月号

[発行]

横浜市小学校教育研究会

情報・視聴覚教育部会

会長 田中 公明

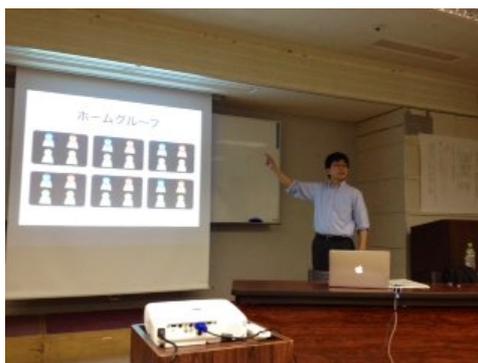
4月22日(水)に技能文化会館にて、平成27年度定期総会が行われました。

研究会長挨拶では、昨年度に公開された横浜市第二期教育振興計画に触れ、本市ではタブレット端末などのICT機器の整備や情報教育に力をいれて取り組んでいくことから、本研究会でも、横浜市の教育研究会の一つとして、全市の学校現場に先駆けて機器の活用や授業づくりについて先進的に研究を進めていくこと、現場の教職員のニーズに合わせて誰もが情報機器の活用ができるようになるように、ICT教育の裾野を広げていく活動について取り組んできていることを話されました。

市教育委員会挨拶でも、横浜市第二期教育振興計画について述べられ、ICT機器の整備によって、現場の教職員が子供達の育成、魅力ある授業、学力の向上などに力を発揮していけることに願いを込めて語られました。

講演会では、冒頭、学習者用デジタル教科書・教材についての最新情報に触れ、タブレット端末を用いたこれからの学習スタイルについて話されました。

「タブレット端末が学校に教室に入ったときに、我々教員がどのような授業をデザインするかをしっかりと見極める必要がある。『21世紀型スキル』『協働学習』『アクティブ・ラーニング』など様々な動きがあるが、結局のところ、教師が授業をどうデザインするかが大切。学習の中で、子どもたちの話が互いに『からみ』合い、その中で思考が『ゆらぐ』ことで思考力を育む授業をデザインし、子どもの学び(思考)の『確認・整理』を的確に行う教師の出が大切である。」と話されました。タブレット端末がそれをしてくれるわけではなく、教師がどう使うかを見極めていく必要があることを強調されていました。



各部オリエンテーションでは、昨年度の成果と課題から導いた、今年度の研究テーマについて説明がありました。

〈授業デザイン部会〉

部会研究主題「ICTを活用して、子どもたちの思考力アップ」を掲げ、昨年度に引き続き、今年度もタブレット端末を使って継続的な研究に取り組むことを説明しました。タブレット端末を含むICT機器を使って、「視覚化による「思考力」の育成と思考の可視化」と「協働学習のさらなる追究」の二つを柱にして研究を推し進めていくことを話しました。

〈スキルアップ部会〉

部会研究主題「ICTを活用して、基礎力アップ」を掲げ、思考力の土台となる基礎力の育成にICT機器がどう寄与できるか、そしてそのためには教員の基礎力のスキルアップ必要であることから、「タブレット端末の環境整備や実践を通じた基礎力の育成」「校内のICT機器の管理と運用方法」「情報モラル教育」を研究の柱にすることを話しました。

次回予告

フォーラム南太田

2015年5月13日水曜日 15:30~

各部会による会員研究が行われます。今回は研究の方向性の確認と実践提案などが行われます。多数の参加お待ちしております。



研究会HP QRコード



研究会HP <http://www.edu.cityyokohama.jp/sch/enkyu/es-ict/>

[編集] 紀要・広報担当 藤原 直樹 (金沢区 西富岡小学校)